

2018 年度 活動報告

特定非営利活動法人

AMDA 国際医療情報センター

理事長からのメッセージ

昨年 4 月より医療機関向け「アムダ通訳ライン」を開始、私たちの活動も新たな領域に入りました。この事業は委託事業でも助成事業でもありません。多文化社会に急速に向かっている日本において必要な事業であるからこそ開始したわけですが、それだけにこれを長く続けるための財政的方策も考えなければならないでしょう。また私たちの原点である外国人のための医療・医事相談事業についてもこれを継続していかねばならないと思っています。昨年 10 月 17 日に日本医師会外国人医療対策委員会の第一回会議が開催されました。私も専門委員として参加させていただいておりますが、AMDA 国際医療センターが行ってきた事業に先見の明があったこと、そして医師会、医療機関の先生方の中に非営利で事業を行っている我々に対する信頼と期待が高まっていることをひしひしと感じました。また、厚労省の訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会も第一回が 11 月 14 日に開催されました。こちらも私が構成員として参加しております。今後の AMDA 国際医療情報センターの活動についても有益な情報が得られたと思っております。

理事長 小林 米幸

新たな一步を踏み出しました

全国に拡散する外国人患者に対して医療通訳サービスを利用してもらうために、医療機関向けの「アムダ通訳ライン」を始めて 1 年がたちました。医療機関から直接依頼していただくことで、確実かつスマートに電話通訳を利用した受診につなげる仕組みとして始めたものです。新しい電話番号で始めたことと対応言語と対応時間が以前に比べると限られている現状もあって、なかなかすべてのご希望に応えられないのが辛いところですが、少しずつ医療機関からの問い合わせも増え、難しいケースでのご利用が続きました。

もう一つ私たちが大切にしている活動が電話医療相談です。日本語が不自由であっても日本人と同じように医療機関を受診できるよう日本の医療の仕組みを説明し医療機関情報を案内するという、私たちの原点となっている活動です。日本では症状に応じて受診先が異なります。軽症での大病院受診や救急搬送が増えると、日本全体の医療資源にリスクが及びかねません。相談者の要望に丁寧に耳を傾けつつ、日本の医療の仕組みにうまくつなげる適切な情報を提供しました。

2018 年度の主な活動 【事業部門】

アムダ通訳ライン



外国人患者のための電話医療相談



2018年度は対応時間、対応言語共に限定された規模での展開となつたため、残念ながら対応できた件数も通訳ライン・相談ラインともに、かなり減少してしまいました。

医療翻訳

神奈川県大和市保健所 乳幼児予防接種予診票翻訳（7カ国語）

神奈川県衛生研究所 HIV検査・相談マップ翻訳（8カ国語）

2018年度の活動報告【管理部門】

業務改変

アムダ通訳ラインの開始

専用オフィス開設

NEWSLETTER発行

2回発行（4月／10月）

広報

アムダ通訳ラインパンフレット作成

センターWebsiteリニューアル作業

Facebook

講師派遣： 6回

他団体交流会・協議会などへの参加： 10回

スタッフ研修

アムダ通訳ライン担当者への業務研修用マニュアルを作成し、研修を実施しました。

センターへ寄せられる医療相談の内容が複雑化していることに対応するため、業務マニュアル全体を見直し、現任者研修を実施しました。

アムダ通訳ライン業務マニュアル作成

新人研修マニュアル改訂

相談業務現任者用マニュアル作成・研修実施

相談サポートスタッフ用マニュアル改訂・研修実施

管理業務

理事会 2018年5月23日

2017年度事業報告ならびに決算報告（案）承認

通常総会開催について

通常総会 2018年6月13日

2017年度事業報告並びに決算報告（案）承認

2018年度事業計画並びに予算（案）承認

特定非営利活動法人促進法改正に伴う定款変更

役員任期満了に伴う改選

理事会 2018年6月16日

理事長及び副理事長選定